

事務事業名		寝具洗濯乾燥消毒サービス事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	04安心が確保されたまちづくりの推進				事業期間		予算科目			
	施策名	13高齢者福祉の推進									
	基本事業名	02高齢者福祉サービスの充実									
根拠法令						☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成14 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01 03 01 03 60			
所属	部課名	生活福祉部保健介護センター									
	課長名	後藤 俊一									
	係 名	高齢者福祉係	電話	26-2943							
	担当者	佐藤 誠	内線	439							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
老衰、心身の障害、疾病等の理由により寝具の衛生管理が困難な高齢者及び重度身体障害者に対して寝具の洗濯、乾燥及び消毒サービスを行うことにより、快適な生活ができるよう支援し、寝たきり高齢者等の福祉の向上を図る。								総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金	
①3点セット(掛布団・敷布団・毛布):4,500円(内利用者負担額450円)										都道府県支出金	
②4点セット(掛布団・毛布・特殊用マットレス・ベットのマット):6,000円(内利用者負担額600円)										地方債	
1対象者に対し年度内2回まで利用可能で、代替寝具無料貸出有り。										その他	
申請者から市に直接申請するか、担当のケアマネージャーがいる場合はケアマネージャーを通して申請書を提出後、審査。決定後申請者に決定通知を送付し、委託業者(社会福祉法人朋友館)に連絡。後日業者と申請者で日程調整を行い業者より実施計画書が提出される。寝具返却後、業者より提出された実施報告書と請求書をチェックして支払い事務を行う。(利用者負担金は業者が直接徴収)										一般財源	
										事業費計(A)	0
								人件費	正規職員従事人数		
									延べ業務時間		
									人件費計(B)	0	
									トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 延べ利用件数 件	
申請に対して、対象者が要綱の条件に該当するかを判断して決定通知を送付。決定後委託業者に連絡。業者より実施計画書、実施報告書が提出。業者より請求書を受けとった後、支払い。		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
中止			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・要介護4または5に認定されている者で自宅において生活しているもの		名称 単位	
・第1種1級または2級の身体障害者手帳を有するもので、心身の障害により常時寝たきりの者		カ 申請者数 人	
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・寝具の衛生管理が困難な高齢者等が快適な生活を送れる。		名称 単位	
・対象者の衛生環境が向上する		サ 実利用人数 人	
・介護者の金銭的負担が軽減する		シ 洗濯をした寝具数 枚	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	
自立して日常生活をおくってもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	0	0	0	0	0	0
	事業費計 (A)		千 円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間		0	0	0	0	0
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	0	0	0	0	0
⑤活動指標		ア	件	0	0	0	0	0	0
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	人	0	0	0	0	0	0
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	人	0	0	0	0	0	0
		シ	枚	0	0	0	0	0	0
		ス							

事務事業ID	0215	事務事業名	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
当事業は平成13年度から旧三陸町で実施していたものであるが、平成14年に行われた市町村合併により新市として一体的にサービスを行うようにした。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
開始時期と比較し介護保険制度の周知に伴い介護認定者は増加しているが、本事業の対象者数は減少してきているため、平成23年度に事業中止し平成24年度以降も中止としている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
特になし			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 当事業を実施することにより、寝たきりである対象者は衛生的で快適な在宅生活をおくれるようになり、介護者の負担軽減にもなり、介護サービスの充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 当事業は寝たきり高齢者や身体障害者の在宅生活の維持、介護者の負担軽減に寄与するものであり、市の福祉行政の一翼を担うものであり、市の関与は妥当であるが、近年申し込みがなくなっている。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 在宅で寝たきりの生活を送り、寝具の衛生管理が困難な者が対象であるため、現状の対象と意図で適切であると思われる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 広報掲載や介護サービス事業者へ周知を図り、利用の促進を促すことにより、成果の向上が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 当事業を廃止した場合、対象者は一割負担だったサービスの負担額が全額負担となり、申請者の金銭的負担が増加するため、寝たきり高齢者や重度身体障害者の在宅生活の維持、介護者の負担軽減が図られなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 庁内に類似事業はない。当事業は専門知識を持つ寝具洗濯乾燥消毒事業者に委託しており、現状では他の手段は考えられない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 当事業は業者に委託しているため、業者の変更以外事業費を削減するのは困難である。平成16年度より委託業者を変更したことにより、セット単価を値下げした経緯がある。現在委託している業者が一番安値であり、これ以上の事業費の削減は現段階では不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 必要最低限の人員で対応している。所要時間については、実際のサービスの部分は民間業者に委託しており、事務的な部分は申請者の審査や決定、サービス後の確認や支払い等削除できないものがほとんどである為これ以上の時間の削減は望めない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ サービス費用のうち、一割は利用者負担である。これは一割負担を基本とする介護保険サービス制度を基としており、公正公平な配分と考えられる。

事務事業ID	0215	事務事業名	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業
--------	------	-------	----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	23年度以降休止している事業ではあるが、要介護認定者は増加傾向にあり、将来的に当事業の利用者が増加していくことは充分想定できるため、必要な市民サービスの一環として事業としては現状を維持することが妥当と考える。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 介護サービス事業者への周知、広報等による周知を継続していく。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						
在宅重度要介護者が日常的に使用している寝具等の衛生状態、クリーニングの実情(誰がいつどのくらいの頻度で)等を調査、把握することで当事業の必要性、妥当性を見直し又は確認することができると考える。																						

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	保健介護センター所長	後藤俊一

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																						
☐ 記述不足でわかりにくい																						
☒ 一部記述不足のところがある																						
☐ 記述は十分なされている																						
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																						
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)																						
☒ 一部に客観性を欠いたところがある																						
☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	事業目的は妥当であるとする。事業内容の周知方法について一考を要する。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 事業内容の周知に一層努める必要がある。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1)行政経営推進会議等での指摘事項